

イーストスプリング・  
インド株式ファンド  
(3ヵ月決算型)

追加型投信／海外／株式

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主としてインドの金融商品取引所に上場されている株式を主な投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

作成対象期間 2023年6月16日～2023年12月15日

第63期 2023年9月15日決算

第64期 2023年12月15日決算

日経新聞掲載名：インド2

第64期末(2023年12月15日)

基準価額	13,677円
純資産総額	13,014百万円
第63期～第64期	
騰落率	14.8%
分配金(税込み)合計	900円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

## イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

<https://www.eastspring.co.jp/>

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

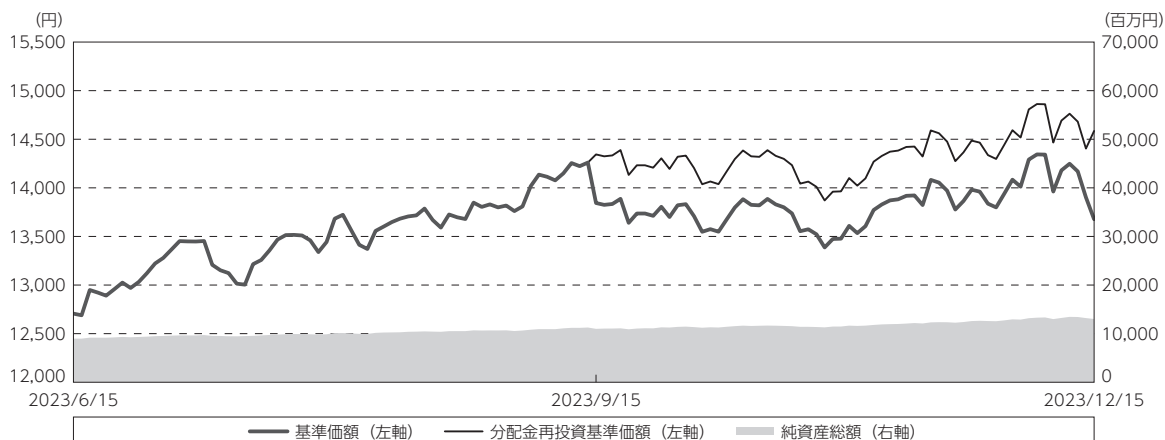
&lt;運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法&gt;

ホームページにアクセス⇒「ファンド情報」を選択⇒ファンド名を選択⇒「目論見書・月報・運用報告書等」の「運用報告書(全体版)」を選択

## 運用経過

### 基準価額等の推移について

(2023年6月16日～2023年12月15日)



第63期首：12,706円

第64期末：13,677円 (既払分配金(税込み)：900円)

騰落率：14.8% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2023年6月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

### 基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は上昇しました。

(上昇要因)

- ・保有する株価が上昇したこと。

## 1 万口当たりの費用明細

(2023年6月16日～2023年12月15日)

項 目	第63期～第64期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	92	0.675	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(37)	(0.275)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	(52)	(0.385)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.015)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.014	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 0 )	(0.001)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 1 )	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( 印 刷 )	( 1 )	(0.008)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
( そ の 他 1 )	( 0 )	(0.000)	信託管理事務に係る手数料
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)	金銭信託に係る手数料等
合 計	94	0.689	
作成期間の平均基準価額は、13,609円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

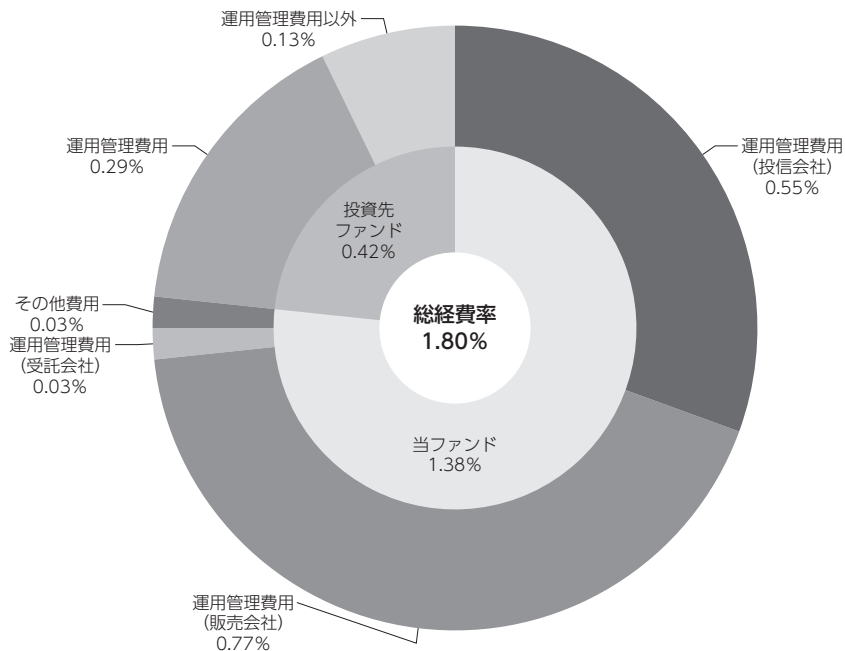
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## (参考情報)

### ○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.80%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	1.80
①当ファンドの費用の比率	1.38
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.29
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.13

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券です。

(注) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について

(2018年12月17日～2023年12月15日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 (注) 分配金再投資基準価額は、2018年12月17日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年12月17日 決算日	2019年12月16日 決算日	2020年12月15日 決算日	2021年12月15日 決算日	2022年12月15日 決算日	2023年12月15日 決算日
基準価額 (円)	9,298	9,303	9,696	12,154	12,731	13,677
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	1,100	1,400	1,400
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	0.1	4.2	37.2	16.6	19.3
純資産総額 (百万円)	11,002	7,891	5,760	5,488	5,918	13,014

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。  
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。  
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。  
 (注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 投資環境について

---

### インド株式市場

作成期初から好調な企業業績やインド経済を背景に海外機関投資家からの資金流入も見られ株価は上昇して始まりました。その後も好調な製造業活動やインド国内の消費者物価指数の伸び率が事前予想を下回ったことなどから上昇しました。2023年10月には中東情勢の緊迫化に伴う原油価格上昇懸念や米国長期金利の上昇を受けた米国株の調整などを背景に下落しましたが、その後は米国の利上げサイクルの終了観測や2024年春に行われる総選挙の前哨戦として位置付けられている地方議会選にてモディ首相率いる与党インド人民党（BJP）が3州で勝利したことでモディ首相再選への期待値が高まったことなどから株価は上昇し作成期末を迎えました。通期では上昇となりました。

### 為替市場

インドルピーは米国長期金利が上昇し米ドルが強含むなか、2023年7月から9月にかけて対米ドルで下落しました。その後はレンジ内で推移して作成期末を迎えました。円は作成期初から円安米ドル高で推移しましたが、11月中旬以降、日米金利差の縮小を背景に大きく円高米ドル安が進み、通期では円安米ドル高となりました。インドルピーは通期で円に対してほぼ変わらずとなりました。

### 国内債券市場

国内債券市場は、2023年7月末の金融政策決定会合でイールドカーブ・コントロール政策が柔軟化されたことや米国長期金利の上昇などから、10年国債利回りは上昇し、11月初めには0.95%を付けました。しかし、その後米国長期金利が低下したことから日本の10年国債利回りも低下しました。当作成期の10年国債利回りは上昇しました。

## ポートフォリオについて

---

### 当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ・インディア・エクイティ・オープン・リミテッド（以下、「インド・エクイティ・オープン」ということがあります。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。

### インド・エクイティ・オープン

インド株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行いました。個別銘柄調査とバリュエーションを重視し、市場全体およびセクター内で割安に評価されている銘柄を中心に投資を行い、割高となった銘柄の組入れを減らしました。当作成期は、インド国内のインフラ関連や中東の鉄道インフラ関連などの新規受注が好調であることが好感され上昇した大手エンジニアリング会社のラーセン&トッブローの保有がプラス要因となりました。一方で2023年7-9月期決算が前年同期比減益となったヒンドゥスタン・ユニリーバの保有がマイナス要因となりました。

## イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1－10年債）を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

### ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

### 分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

#### ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項目	第63期	第64期
	2023年6月16日～ 2023年9月15日	2023年9月16日～ 2023年12月15日
当期分配金	500	400
(対基準価額比率)	3.486%	2.842%
当期の収益	500	228
当期の収益以外	－	171
翌期繰越分配対象額	7,303	7,135

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

### 今後の運用方針について

#### 当ファンド

主要な投資対象の一つであるインド・エクイティ・オープン組入比率を高位に保つことを基本とします。

#### インド・エクイティ・オープン

インド企業の業績成長期待が相対的に高いことがインド株式市場のこれまでの好調なパフォーマンスの背景にあると見ています。また来年の総選挙を控えて現政権が財政面で景気を支えるとの期待もインド市場に対する強気な姿勢を裏付ける根拠の一つとなっています。長期的には米中の地政学的な緊張の高まりからインド経済は恩恵を受ける可能性があると考えています。米国や日本、その他の国では製造拠点をインドに移す動きがあり、インド政府が速やかにこれを取り込む施策を打ち出すことでさらに加速する可能性があります。海外からの投資がけん引して設備投資が拡大し、インド経済は活性化されると考えます。インドはこれまで他の新興国と比較して、バリュエーションから見て割高な水準にあります。内需の国であるインドは世界的な景気変動の影響が相対的に小さいことや、政策や制度改革への政府の

取り組みを市場が評価していることが背景にあります。引き続き、ファンダメンタルズが強固で割安な銘柄に着目しながら、選別投資を行う方針です。

## イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行い、ベンチマークである ICE BofA 国債インデックス（1-10年債）を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

## お知らせ

2023年9月15日付で投資対象ファンドにおけるデリバティブの使用目的を、投資の対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的ならびに価格変動リスクおよび為替相場の変動リスクを減じる目的に限定することを明確化する約款変更を行いました。なお、かかる変更は、運用の実態に即した記載内容に変更するものであり、実際の運用の基本方針、運用体制等につきましては、一切変更はございません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（2007年12月18日設定）
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主にインドの金融商品取引所に上場されている株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・エクイティ・オープン・リミテッド」の米ドル建て投資証券およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	以下の投資制限のもと運用を行います。 <ul style="list-style-type: none"><li>・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。</li><li>・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</li><li>・株式への直接投資は行いません。</li></ul>
分配方針	毎決算時（毎年3月、6月、9月、12月の各15日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

## 指数に関して

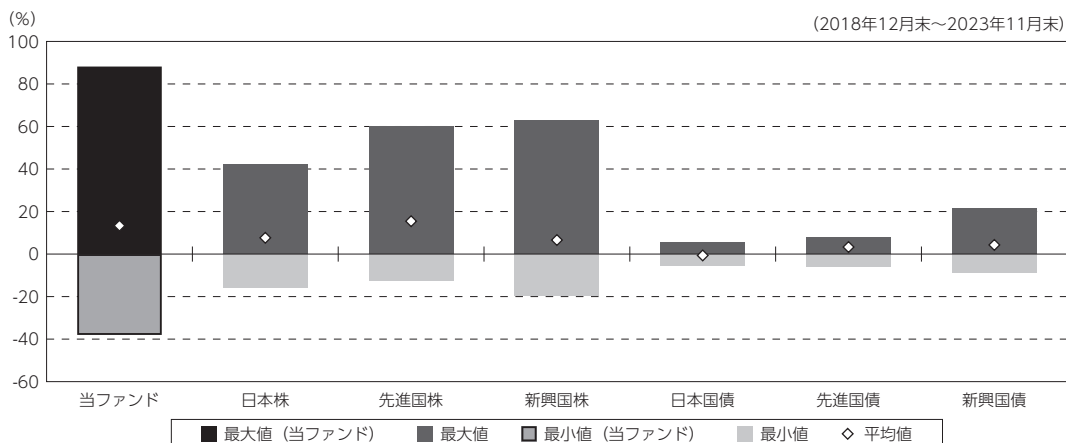
当ファンドの投資対象である「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）」のベンチマークについて

ICEの指数データは、ICE Data Indices, LLC、その関係会社（以下「ICE Data」）及び／またはその第三者サプライヤーの財産です。ICE Data及びその第三者サプライヤーは、その使用に関して一切の責任を負いません。



(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	88.2	42.1	59.8	62.7	5.4	8.0	21.5
最小値	△ 38.0	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	13.3	7.6	15.4	6.6	△ 0.6	3.3	4.3

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年12月から2023年11月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## ファンドデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

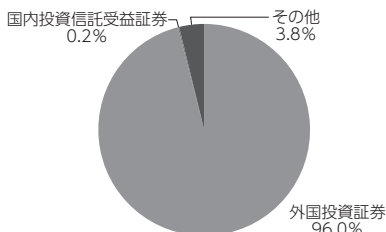
#### ○組入上位ファンド

銘柄名	第64期末
	%
イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・エクイティ・オープン・リミテッド	96.0
イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型I(適格機関投資家向け)	0.2
組入銘柄数	2銘柄

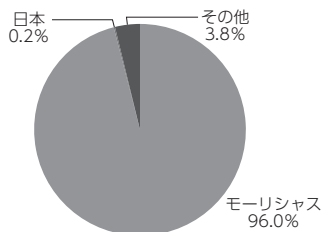
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

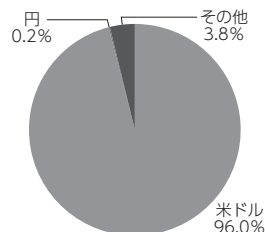
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

### 純資産等

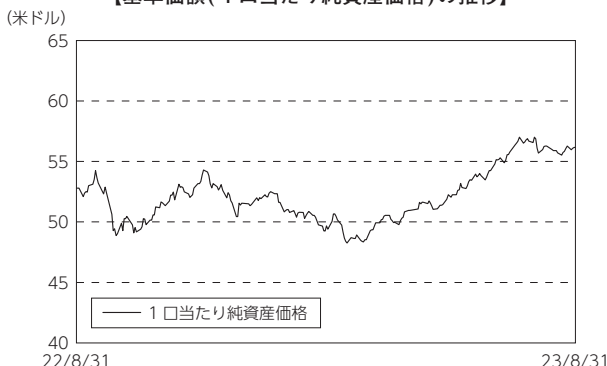
項目	第63期末	第64期末
	2023年9月15日	2023年12月15日
純資産総額	10,987,927,978円	13,014,680,654円
受益権総口数	7,937,092,757口	9,515,720,052口
1万口当たり基準価額	13,844円	13,677円

(注) 当作成期間(第63期~第64期)中における追加設定元本額は3,665,146,443円、同解約元本額は1,208,322,833円です。

## 組入上位ファンドの概要

### イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・エクイティ・オープン・リミテッド

#### 【基準価額(1口当たり純資産価格)の推移】



#### 【1万口当たりの費用明細】

2022年9月1日～2023年8月31日

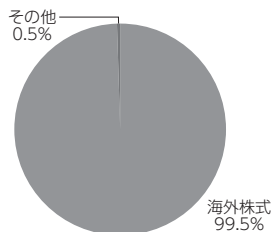
当該期間のFinancial Statements (監査済み) には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

#### 【組入上位10銘柄】

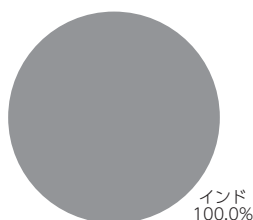
(2023年8月31日現在)

	銘柄名	業種	国・地域	比率
1	リライアンス・インダストリーズ	エネルギー	インド	9.2%
2	インフォシス	ソフトウェア・サービス	インド	8.0%
3	ICICI銀行	銀行	インド	8.0%
4	アクシス銀行	銀行	インド	4.7%
5	HDFC銀行	銀行	インド	4.5%
6	ラーセン&トップロ	資本財	インド	3.4%
7	サン・ファーマシューティカル・インダストリーズ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	インド	3.0%
8	インダスインド銀行	銀行	インド	2.6%
9	マヒンドラ・マヒンドラ	自動車・自動車部品	インド	2.6%
10	インドガス公社	公益事業	インド	2.4%
組入銘柄数			46銘柄	

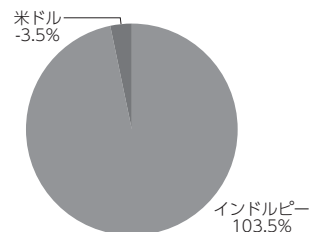
#### 【資産別配分】



#### 【国別配分】



#### 【通貨別配分】



(注) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの (監査済みおよび同時点の関連データを含む) を使用しています。

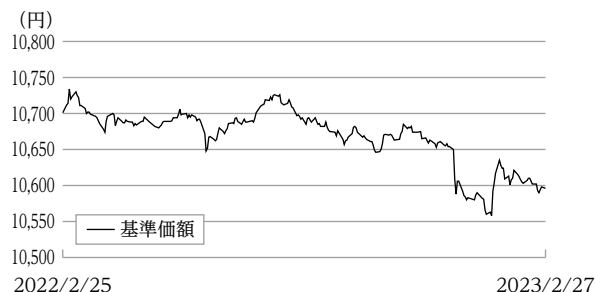
(注) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

(注) 通貨別配分において、基準日をまたぐ為替取引等の計上により数値がマイナスになることがあります。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) でご覧いただけます。

## <イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）>

### 基準価額の推移



### 1万口当たりの費用明細

(2022年2月26日～2023年2月27日)

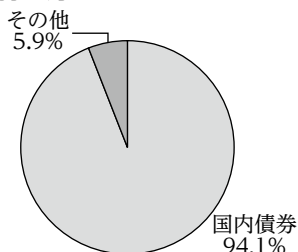
項目	金額	比率
(a) 信託報酬	24円	0.221%
(投信会社)	(15)	(0.144)
(販売会社)	( 2)	(0.022)
(受託会社)	( 6)	(0.055)
(b) その他費用	2	0.014
(監査費用)	( 2)	(0.014)
合計	26	0.235

### 組入上位10銘柄 (組入銘柄数：10銘柄)

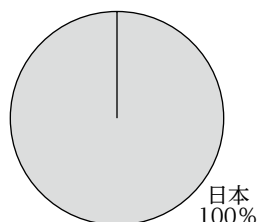
(2023年2月27日現在)

銘柄名	種別	利率	償還日	国・地域	比率
第91回利付国債（20年）	国債	2.3%	2026/9/20	日本	21.3%
第359回利付国債（10年）	国債	0.1%	2030/6/20	日本	12.8%
第117回利付国債（20年）	国債	2.1%	2030/3/20	日本	12.6%
第87回利付国債（20年）	国債	2.2%	2026/3/20	日本	8.6%
第354回利付国債（10年）	国債	0.1%	2029/3/20	日本	8.5%
第63回利付国債（20年）	国債	1.8%	2023/6/20	日本	7.4%
第351回利付国債（10年）	国債	0.1%	2028/6/20	日本	7.2%
第67回利付国債（20年）	国債	1.9%	2024/3/20	日本	6.7%
第80回利付国債（20年）	国債	2.1%	2025/6/20	日本	5.8%
第75回利付国債（20年）	国債	2.1%	2025/3/20	日本	3.1%

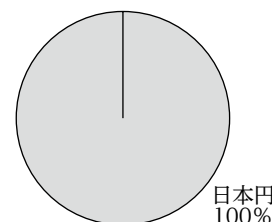
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



(注) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## ＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

### ○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

### ○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

### ○NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

### ○FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。